



# はままつ図書館だより

2019. 7. 10 No. 164

浜松市立中央図書館 浜松市中区松城町214-21 TEL053-456-0234 FAX053-453-2324  
ホームページ <https://www.lib-city-hamamatsu.jp/> 携帯サイト <https://www.lib-city-hamamatsu.jp/m/>

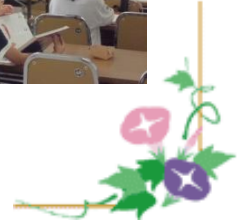
## 夏休みと図書館

梅雨が明けると夏本番。学生の皆さんは夏休みが待ち遠しい時期ですね。夏休みのある7～8月は、図書館の利用が年間で一番多くなる季節です。1日あたりの来館者数も、他の月の約1.5倍(注:全館平均)。この機会に初めて図書館に足を踏み入れるという人も多いのではないのでしょうか?

夏休みは各館で様々な行事や展示を企画していますので、興味のある分野をきっかけに“図書館”をもっと知ってもらえると嬉しく思います。

図書館はクールシェアスポットにもなっています。暑い夏、特に予定のない日に、ふと立ち寄れる気軽な場所としても、是非お使いください。

例年、夏休みに合わせて行っている小学生向けの「調べ学習講座」ですが、今年は6月～8月にかけて、全17回開催します。受付初日には多くの申し込みがあり、殆どの館でその日のうちに定員がいっぱいになるほどの盛況ぶりでした。6月23日(日)に中央図書館で開催した初回講座でも、多くの小学生が熱心に取り組んでいました。



## キャンドルの会 ～ストーリーテリングのおはなし会～

ろうそくの灯りの中で、色々な国のおはなしを聞いてみませんか?

対象:小学生以上 (長い絵本の読み聞かせに慣れている子なら、年長児くらいから可)

時間:概ね30分間

※申し込みはいりません。時間までにお越しください。

※ストーリーテリングとは...

図書館では一般的に、昔話や創作の物語などを覚えて(絵本などの絵を見せずに)語ることを指します。会場によっては、部屋の照明を落として、普段とは違う雰囲気を楽しめます。



昨年度の様子 (左:はまゆう図書館/右:都田図書館)

	日時	会場
7月19日(金)	午後6時～	中央図書館
7月23日(火)	午後6時～	城北図書館
7月24日(水)	午後3時～	雄踏図書館
7月25日(木)	午後3時～	細江図書館
7月26日(金)	午後3時～	浜北図書館
7月27日(土)	午前10時30分～	はまゆう図書館
7月27日(土)	午後3時～	南図書館
7月28日(日)	午前10時30分～	引佐図書館
7月28日(日)	午後3時～	流通元町図書館
7月31日(水)	午後3時～	舞阪図書館
8月 1日(木)	午後3時～	北図書館
8月 3日(土)	午後3時～	可新図書館
8月21日(水)	午前10時30分～	都田図書館
8月21日(水)	午後3時～	積志図書館

## 「点訳奉仕者養成講座」のお知らせ

浜松市立図書館では、視覚障がい者に向けた読書支援を行っています。この講座は、視覚に障がいのある方に提供する「点字図書」を作るための知識、技術を学ぶものです。講座終了後はボランティアとしてご協力いただきます。

講座の申し込みには、事前説明会への参加が必要です。

### 【事前説明会】

日時:9月4日(水)午後1時30分～

会場:城北図書館 2階 講座室(中区和地山二丁目)

内容:点訳奉仕者養成講座についての説明及び質疑応答

申込:8月15日(木)午前10時～ 城北図書館へ来館又は電話

### 【講座】

日時:9月11日～11月13日(毎週水曜日・全10回)

午後1時30分～3時30分

会場:城北図書館 2階 講座室

定員:15人

対象:講座終了後、ボランティア活動に従事できる人

※活動にはパソコンと点訳ソフトが必要

申込:9月4日の説明会終了後に受付

※応募多数の場合は抽選

詳しいお問い合わせは城北図書館(053-474-1725)まで



## 令和元年度 読書推進講演会 『令和』の由来、万葉集

新元号の出典として注目を集めている“万葉集”。  
「令和」の由来や万葉集の奥深い魅力を、万葉集研究の第一人者にお話しいただく講演会です。

日時:8月24日(土) 午後2時～4時

会場:中央図書館 2階 大会議室

講師:上野 誠さん(奈良大学文学部教授)

定員:100人(先着順)

申込:7月18日(木) 午前9時～

中央図書館へ来館又は電話(053-456-0234)

主催:浜松市立中央図書館、浜松読書文化協会



講師の著作(一部)です。  
所蔵図書館の確認や予約  
の受付はお気軽にお声か  
けください。

- ㊦ 折口信夫的思考 (青土社)
- ㊦ 古典不要論への反撃!? (笠間書院)
- ㊦ 筑紫万葉恋ひごころ (西日本新聞社)
- ㊦ 日本人にとって聖なるものとは何か(中央公論新社)
- ㊦ 万葉手帳 (東京書籍)
- ㊦ 万葉集から古代を読みとく (筑摩書房)
- ㊦ 万葉文化論 (ミネルヴァ書房)      ほか多数